

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	宮城県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	志津川町立志津川小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	3	3	2	16	23
児童数	77	75	67	66	84	81	4	454	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力の向上を目指した指導の工夫 ~算数科の少人数指導を通して~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年・算数科 ・ 子どもの理解度に個人差がしやすい教科であるため。 ・ これまでの研究成果と児童の変容の結果から、継続的な実践研究に取り組むため。
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 確かな学力の向上を目指した指導の工夫 ~算数科の少人数指導を通して~ 研究の仮説 児童一人一人に応じた指導のために次の手立てをとれば、基礎・基本の定着が図られ、算数科における確かな学力の向上が図られるであろう。 (1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発を工夫する。 (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制を工夫する。 (3) 児童の学力の評価を生かした指導を工夫する。 研究の内容・方法 別紙 資料1
--------	---

平成15年度	テーマ 確かな学力の向上を目指した指導の工夫 ~算数科の少人数指導を通して~ 研究の仮説 児童一人一人に応じた指導のために次の手立てをとれば、基礎・基本の定着が図られ、算数科における確かな学力の向上が図られるであろう。 (1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発を工夫する。 (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制を工夫する。 (3) 児童の学力の評価を生かした指導を工夫する。 研究の内容・方法 別紙 資料1
--------	---

平成16年度	テーマ 確かな学力の向上を目指した指導の工夫 ~算数科の少人数指導を通して~ 研究の仮説 児童一人一人に応じた指導のために次の手立てをとれば、基礎・基本の定着が図られ、算数科における確かな学力の向上が図られるであろう。 (1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発を工夫する。 (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制を工夫する。
--------	---

- (3) 児童の学力の評価を生かした指導を工夫する。
研究の内容・方法 別紙 資料 1

(3) 研究推進体制

別紙 資料 2

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 学力検査:算数CRTの結果から(平成14年度～15年度の比較)
- ・ 全体的な傾向としてA(十分満足)の割合が増えた。
 - ・ 3～6年生の「表現・処理」「知識・理解」の観点でAの割合が増えた。
 - ・ 3～6年生の、「関心・意欲・態度」の観点でAの割合がかなり増えた。
 - ・ 3, 4, 6年生で「数学的な考え」の観点でAの割合が増えた。
 - ・ 2, 3年生はすべての観点でよく理解している児童が多い。
- 別紙 資料 3
- 意識調査の結果から
- ・ 児童の意識調査から、全体の60%以上が算数の学習が「とても好き」「好き」としている。その理由として、「よく分かるから」「計算が好きだから」「テストの点数がよいから」などをあげている。また、少人数指導を70%以上の児童が楽しいとしている。「分かりやすくなった」「発表しやすい」「自分のペースで勉強できる」ことなどをその理由としている。
 - ・ 保護者の意識調査から、全体の86%が少人数指導に賛成であり、本校の指導に対する期待が高い。
- 市販テストの結果の状況から(毎学期集計)
- ・ 学年平均で期待値以上の得点を得ていることから基礎・基本を確実に身に付けてきていることがうかがわれる。

2. 今後の課題

- ・ より効果的な少人数指導の在り方をさらに研修し、個に応じたきめ細かな指導による学力の向上を図る。
- ・ 発展的な学習や補充的な学習の時間の確保と有効な教材の開発に努める。
- ・ 評価累積表の活用を図るなどして、学力の評価を生かした指導の充実を目指す。
- ・ 研究成果について、一層情報発信するよう努める。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 学力検査(CRT)の実施 (平成14年6月,平成15年4月実施,平成16年2月実施予定)
- ・ 市販テストの集計と分析による学習状況の把握 (学期末)
- ・ 児童,保護者の算数科に対する意識調査の実施 (平成14年12月,平成15年11月実施)
- ・ 単元に対するレディネステストの実施と分析
- ・ 振り返りカードによる学習目標到達状況の把握
- ・ 評価規準の設定と絶対評価を目指した継続的な評価記録の累積

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 平成15年6月18日 公開研究会開催 (200名以上の参加者)
- ・ HPの開設(平成14年10月) <http://shizugawa-e.myswan.ne.jp/>
- ・ 平成16年10月 公開研究会開催予定
- ・ 地区学力向上推進協議会での説明
(平成14年10月11日,平成15年2月24日,7月14日,平成16年2月2日実施)
- ・ 町内教育研究会:研究発表(平成14年2月7日)
- ・ 郡教育研究会,算数部会:研究概要説明(平成15年6月20日)
- ・ 管内小学校教育課程研究協議会:研究概要説明(平成15年8月6日)
- ・ PTA総会,授業参観等での保護者への研究成果の情報公開
- ・ 少人数指導だより「いきいき算数」の発行(毎月)
- ・ 学校だよりの発行(毎月)
- ・ 他校への講師派遣(平成15年7月29日 菅谷小)

- ・ 県教育研修センター:教育データライブラリへの実践資料提出
(平成15年1月,平成16年2月)
- ・ 公開研究会参加者からの数多くの意見。

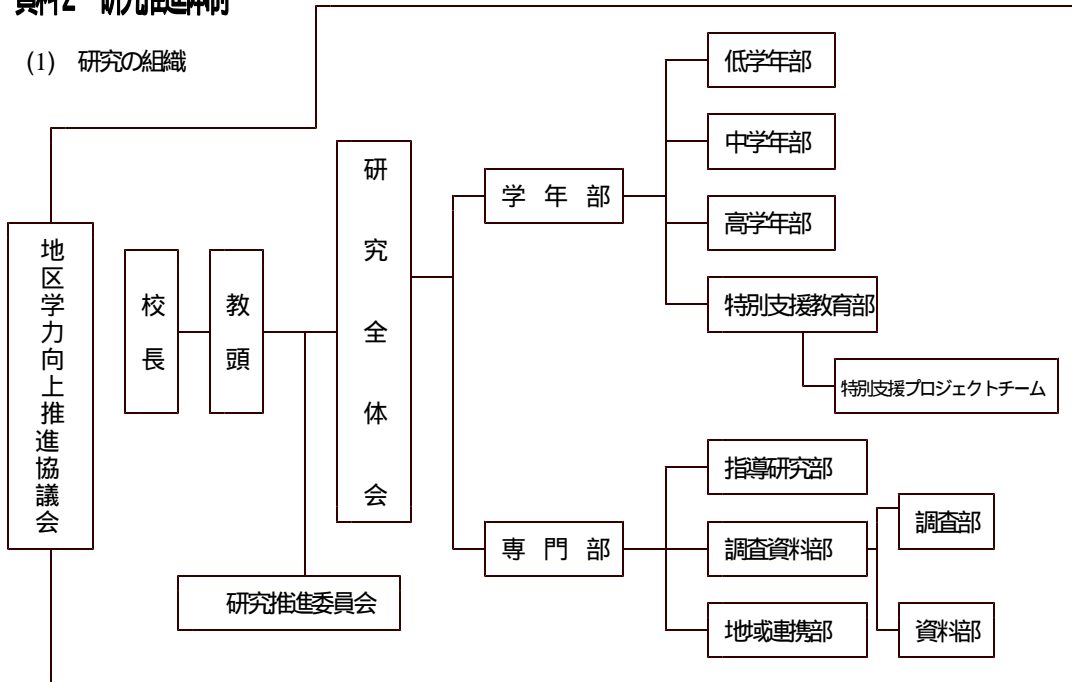
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無

資料1 研究の内容・方法

項目	研究内容	具体的な内容	研究方法
実態調査	算数科に関する実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査の実施（CRT） ・市販テスト結果による実態把握 ・児童の意識調査の実施 ・保護者の意識調査の実施 ・レディネステストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施 ・意識調査の実施 ・学力検査の実施による実態把握とその生かし方
指導計画	算数科の年間指導計画 少人数指導の全体計画（TTの計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科における基礎的・基本的な事項の明確化 ・少人数指導、TT指導の年間指導計画への位置づけ ・評価規準、評価方法、指導方法、形態を含んだ年間指導計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領や文献による研修 ・実践の積み重ねによる指導計画の作成
仮説 1	発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発を工夫する。		
	教材の開発の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導を目指した教材の選択、開発の工夫 ・教材研究の工夫 ・指導計画への生かし方 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的学習、補充的な学習における教材開発 ・実践の積み重ねによる指導計画の作成
仮説 2	個に応じた指導のための指導方法・指導体制を工夫する。		
	指導方法・指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な指導方法、指導形態の工夫 ・仮説に基づいた学年、学年部の手立ての工夫 ・指導案の工夫 ・学習集団（コース）編成の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力向上を目指した指導案の作成 ・授業実践による仮説の検証
仮説 3	児童の学力の評価を生かした指導を工夫する。		
	評価を生かした指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準の作成 ・多様な評価方法の工夫 ・振り返りカードの活用と工夫 ・評価累積表を利用した記録の累積 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画及び単元の学習計画における評価規準の明確化 ・評価累積表の活用とそれを生かした実践
家庭・地域社会との連携	保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学習学習研成の場としての家庭との連携 ・広報種加による地域との連携 ・授業参観の実施 ・公開授業の参観並びに協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや「少人数指導だより」等による情報発信 ・ホームページによる情報発信 ・県及び地域学力向上推進協議会との連携
校内体制の充実	学力向上を目指した校内体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルタイム・サポートタイムの継続と充実 ・推進上の情報交換の場と時間の確保 ・特別支援プロジェクトの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を目指した学校体制づくりの提案

資料2 研究推進体制



(2) 各研究部の活動内容

組織	構成	主な活動内容
研究全体会	全職員	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題に迫るための全体研究の方向の決定 共通理解を図るための理論研究 授業研究についての事前、事後検討 各学年部、専門部の取り組みの確認
研究推進委員会	研究推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 研究の立案、検討 全体研究の企画、運営 各学年部、研究部の連絡、調整
学年部会	各学年担当	<ul style="list-style-type: none"> 学年部の指導の手だて等の設定と指導法の工夫 授業研究の指導案作成 授業研究の実施、授業の分析と考察、反省 教材開発（発展的な学習、補充的な学習場における教材開発など） 少人数指導等を生かした指導計画の作成 算数的学習の工夫 特別支援プロジェクトの計画、実践
専門部会	指導研究部	<ul style="list-style-type: none"> 文献、先進校等の理論研究と提案 算数の指導に関する研究と提案 指導案、指導過程等の基本型の提案 評価規準や評価方法についての研究と提案 少人数指導に関する研究と提案 各学級担任との時間調整、連絡調整の工夫
	調査資料部 調査部 資料部	<ul style="list-style-type: none"> 各調査の実施と結果の考察及びその活用の工夫（学力検査、児童・教師・保護者の意識調査等） 児童の変容の調査
	地域連携部	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画作成の提案 資料、情報、記録の管理・保管
		<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域との連携 地区学力向上推進協議会との連携 情報の発信体制の確立

資料 3

教研式標準学力検査 CRT の結果

平成 14 年 6 月実施
平成 15 年 4 月実施

<教研式> 観点別集計表・3年間比較 一宮城県 志津川小学校 <算数>

